

大腿骨頸部骨折 人工骨頭置換術 患者さんパスシート (No.1)

氏名		診療科名	整形外科
		入院予定期間	年 月 日
			年 月 日

月日	/	
経過	入院日（手術前日）	
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術の物品を準備しましょう。 手術について理解しましょう。 麻酔について理解しましょう。 転倒・転落の危険性、予防方法について理解しましょう。 	
治療	<ul style="list-style-type: none"> 13時から15時の間に麻酔科の診察があります。 	
薬	<ul style="list-style-type: none"> 薬を内服されている方は、入院時にお薬手帳と一緒に7日分をお持ち下さい。医師・薬剤師が確認し、入院中も継続するかどうか判断します。 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 特に検査はありません。 外来で実施されていない検査を行う場合があります。 	
処置	<ul style="list-style-type: none"> 外転枕の準備をします。 	
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません。 	
活動	<ul style="list-style-type: none"> 決められた安静度を守りましょう。 	
食事	<ul style="list-style-type: none"> 21時から食べられません。 24時から水分を飲めません。 	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 体拭き又はシャワー浴をします。 	
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 医師から手術の説明があります。 看護師から入院生活、手術前後の処置、必要な物品、手術の流れ、腓骨神経麻痺の予防について説明があります。（別紙1参照） 麻酔科担当医から麻酔科外来で麻酔について説明があります。 手術に使用するバスタオル1枚、T字帯1枚をお預かりします。 パンフレット「股関節の手術を受けられる方へ」に沿って、脱臼予防の説明をします。（P1～P8） 	

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。日本医科大学付属病院 2020年8月改定

大腿骨頸部骨折 人工骨頭置換術 患者さんパスシート (No.2)

氏名	
----	--

診療科名	整形外科
入院予定期間	年 月 日
	年 月 日

月日	/
経過	手術当日（手術前）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術に向かう準備をしましょう。
治療	<ul style="list-style-type: none"> 10時以降に手術開始予定の場合は、手術室に行く前に点滴を行います。（6時～7時頃）
薬	<ul style="list-style-type: none"> 内服はできません。 医師の指示で内服がある場合はお伝えします。 
検査	<ul style="list-style-type: none"> 特にありません。
処置	<ul style="list-style-type: none"> 手術前に深部静脈血栓予防のため、弾性ストッキングを着用します。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません。
活動	<ul style="list-style-type: none"> 指示された安静度を守ってください。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 食べたり飲んだりできません。 
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 洗面、歯磨きは行うことができます。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 手術室に向かう前に浴衣に着替え、弾性ストッキングを履きます。 貴重品（指輪・時計・義歯・ネックレスなど）は金庫にしまうか、ご家族にお預けください。ご家族が来院されない場合、金庫の鍵は看護師にお預けください。 外れやすい歯やぐらつく歯がある場合は、事前に看護師へお知らせ下さい。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。日本医科大学付属病院 2020年8月改定

大腿骨頸部骨折 人工骨頭置換術 患者さんパスシート (No.3)

氏名		診療科名	整形外科
		入院予定期間	年 月 日
			年 月 日

月日	/
経過	手術当日（手術後）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 痛みや苦痛が強い場合は看護師に伝えましょう。 深部静脈血栓症を予防するための足の運動を行いましょ。
治療	<ul style="list-style-type: none"> 手術翌日の朝まで点滴を行います。 酸素マスクをつけます。 点滴から痛み止めを流します。
薬	<ul style="list-style-type: none"> 手術後、基本的に薬は飲みません。 翌日から内服が開始になります。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 手術終了後、レントゲン撮影と採血があります。
処置	<ul style="list-style-type: none"> 深部静脈血栓症の予防のため術後2週間は弾性ストッキングを着用し、フットポンプを装着します。 手術後は患肢が内転しないよう外転枕で足を固定します。
観察	<ul style="list-style-type: none"> 体温、脈拍、血圧、呼吸、傷の状態（出血の有無、痛みの程度）、足の位置（腓骨頭が圧迫されていないか）、足首の背屈運動の有無などを1時間毎に観察します。 
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 手術後は尿を排泄するための管が入っています。 排便はベッド上で行います。（看護師が支度や片付けを行います）
活動	<ul style="list-style-type: none"> ベッド上で安静にしますが、90度まで体を起こすことができます。 起き上がる時や体の向きを変える時は看護師を呼んで下さい。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 食事は召し上がれません。 水分は酸素マスクが外れたら、飲むことができます。 
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 顔を拭く、うがい、歯磨きなどお手伝いします。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 手術後、点滴やドレーンを誤って引っ張らないよう注意しましょう。 痛みが強い場合には我慢せず看護師にお知らせ下さい。 外転枕は2週間装着します。外転枕の固定バンドによる腓骨神経麻痺予防のため、腓骨頭（膝の外側にある突起）を圧迫しないよう注意しましょう。 外転枕の位置がずれたら正しい位置に戻しましょう。 足首の動かしにくさやしびれ、違和感などを感じた場合は、すぐに看護師に伝えましょう。 血栓予防ため足首の運動をしましょう。 

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。日本医科大学付属病院 2020年8月改定

大腿骨頸部骨折 人工骨頭置換術 患者さんパスシート (No.4)

氏名		診療科名	整形外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/ ~ /	
経過	術後 1~3日目	
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子に乗車しベッドから離床しましょう。 ・リハビリを始めましょう。 ・転倒に注意しましょう。 ・痛みが強い場合には我慢せず看護師に伝えましょう。 	
治療	<ul style="list-style-type: none"> ・食事がしっかり摂取できたら抗生物質の点滴だけになります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・術後 2 日目に医師が傷の消毒を行い、ドレーンを抜きます。 ・点滴の針を術後 2 日目の夕方に抜きます。
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・食事が開始すると、元々内服していた薬が再開となります。 ・痛み止めの内服薬が毎食後処方されます。 ・痛みが強いときは追加の痛み止めがあるので、看護師にお知らせ下さい。 ・術後 2 日目より血栓予防の薬が 2 週間分処方されます。 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・術後 1 日目の朝に採血があります。 	
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・体温、脈拍、血圧、呼吸、傷の状態（出血の有無、痛みの程度）、足の位置（腓骨頭が圧迫されていないか）、足首の背屈運動の有無などについて観察します。 	
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・尿の管を抜いて、車椅子でトイレに行きます。 	
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子移動を開始します。（術後 3 日目まで手術した足に体重はかけられません） ・移動が安定するまでは、看護師が付き添います。 ・リハビリ室でのリハビリが開始します。 ・病室でのリハビリは看護師と行います。 	
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・朝から手術前と同じ食事が始まります。 	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・タオルで体を拭くお手伝いをします。 	
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・痛み止めの内服方法について説明します。 ・今後のリハビリ、手術した足の安静度について、パンフレット「股関節の手術を受けられる方へ」に沿って、看護師が説明します。（P9~P10） 	

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。日本医科大学付属病院 2020年8月改定

大腿骨頸部骨折 人工骨頭置換術 患者さんパスシート (No.5)

氏名	
----	--

診療科名	整形外科
入院予定期間	年 月 日
	年 月 日

月日	/ ~ /	/ ~ /
経過	術後4~7日目	術後8~14日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 病室、リハビリ室でのリハビリを行いましょう。 手術した足に体重を100%かけて歩行器で歩行しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 退院後の生活をイメージしてみましょう。 手術した足に体重を100%かけてT字杖歩行しましょう。
	<ul style="list-style-type: none"> 痛みが強い場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。 転倒に注意しましょう。 	
薬	<ul style="list-style-type: none"> 飲んで頂く薬の説明をします。 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 術後は1週間に1回採血を行います。(4日目、7日目、14日目) レントゲン撮影は手術後の経過に応じて行います。 	
処置	<ul style="list-style-type: none"> 傷の状態に応じて、必要時消毒を行います。 術後14日目に創部の抜糸を行います。 	
観察	<ul style="list-style-type: none"> 体温、脈拍、血圧、呼吸、傷の状態(出血の有無、痛みの程度)、足の位置(腓骨頭が圧迫されていないか)、足首の背屈運動の有無などについて観察します。 	
活動	<ul style="list-style-type: none"> 術後4日目から100%の体重を足にかけられます。(歩行器で歩行します) 	<ul style="list-style-type: none"> 術後8日目からT字杖歩行をします。
	<ul style="list-style-type: none"> 手術した足以外の制限はありません。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 歩行器で歩行訓練を行います。「股関節の手術を受けられる方へ」P9参照 	<ul style="list-style-type: none"> 杖を使用して歩行訓練を行います。「股関節の手術を受けられる方へ」P10参照
食事	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 抜糸までは体拭きを行います。 	
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> パンフレット「股関節の手術を受けられる方へ」に沿って、脱臼予防の説明をします。(P1~P8) 	



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。日本医科大学付属病院 2020年8月改定

大腿骨頸部骨折 人工骨頭置換術 患者さんパスシート (No.6)

氏名	
----	--

診療科名	整形外科
入院予定期間	年 月 日
	年 月 日

月日	/ ~ /
経過	術後 15~17 日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> • 退院後の生活をイメージしてみましよう。 • T 字杖歩行が安定して行えるようにしましよう。 • 転倒に注意しましよう。
薬	<ul style="list-style-type: none"> • 飲んで頂く薬の説明をします。
検査	<ul style="list-style-type: none"> • レントゲン撮影は手術後の経過に応じて行います。
観察	<ul style="list-style-type: none"> • 体温、脈拍、血圧、呼吸、傷の状態（出血の有無、痛みの程度）、足の位置（腓骨頭が圧迫されていないか）、足首の背屈の有無などについて観察します。
活動	<ul style="list-style-type: none"> • 術後 15 日目から外転枕、フットポンプが外れます。 • ご自身で横を向くことができます。 • 杖使用した歩行訓練を継続します。 • 「股関節の手術を受けられる方へ」P10参照
食事	<ul style="list-style-type: none"> • 制限はありません。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> • 抜糸後、医師の許可が出るとシャワー浴が可能となります。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> • 退院後の外来診察日について説明します。 • 保険などの書類は、退院日に本館 1 階 A ブロック文書受付窓口にお出してください。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。日本医科大学付属病院 2020年8月改定

整形外科で手術を受ける患者さんへ

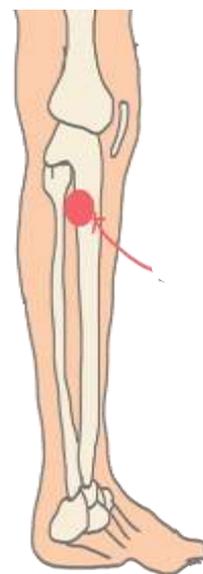
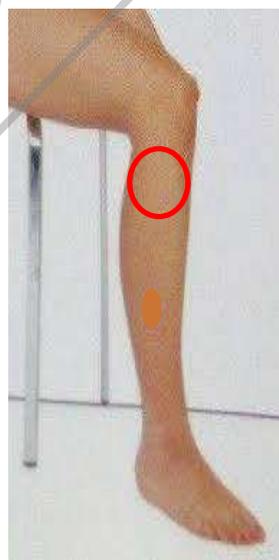
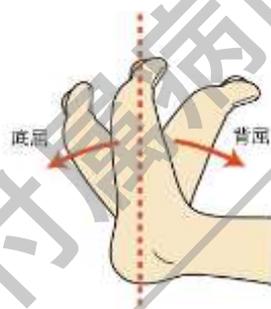
術後に足が動かせない状態で、腓骨頭(足の外側の出っ張った骨の部分)が圧迫されると足がしびれて動かなくなり、麻痺が起こる可能性があります。以下の症状が出現した場合はすぐに看護師にお知らせください。

①今までしびれがなかったのに足がしびれる。

②足首や足の指が自分の力で上下に動かせなくなる。

・術後は膝が天井を向いているようにしましょう。

・装具や枕、外転枕のバンドが腓骨頭に当たらないようにし、圧迫されている場合は看護師にお知らせください。



股関節の手術を受けられる方へ



日本医科大学付属病院

大腿骨頸部骨折の手術

高齢者が骨折をしやすい部位の一つです。受傷により強い痛みは出ますが、正しい治療を受けずに寝込んでいると、そのまま寝たきりになります。手術の説明と今後について、ご本人とご家族の方へ医師より説明させていただき、看護師も手術後の管理、リハビリテーション、日常生活を支援させていただきます。

骨折によって手術の方法が変わります。下の図は一例です。を可能な限り、骨折する前の状態に戻してから、髄内釘やプレートなどを使って骨を固定します。



骨折のタイプ	手術方法	
<p>大腿骨転子部／ 転子下骨折</p>	<p>CHS</p>	<p>ガンマネイル</p>
<p>大腿骨頸部骨折 (安定型)</p>	<p>キャンセラスクリュー</p>	<p>ハンソビーン</p>
<p>大腿骨頸部骨折 (不安定型)</p>	<p>人工骨頭</p>	<p>人工股関節</p>

大腿骨頸部骨折／転子部骨折／転子下骨折

手術法のいろいろ

股関節の手術を受けた方の脱臼予防について

《はじめに》

人工関節置換術、人工骨頭挿入術を行うと人工物であるが故に、上手に使わないと脱臼を起こしたり、早くに悪くなってしまう事もあります。（※個人差があります）今後は人工関節と上手に付き合っていく為に、色々と注意して生活する必要があります。このパンフレットでは手術後の経過や注意点について説明します。

《手術の前に》

安全に手術後を過ごす為には、手術後の生活のイメージがつくように、手術後の練習や日常生活の注意点等を受け持ち看護師が中心に説明を行います。

■リハビリテーション■

リハビリ室で行う練習

- ①立ったり、座ったり、着替えたりといった日常生活でよく使う動作を安全に行う練習をします。
- ②状態に合わせて、段階を追って歩行練習や階段練習を進めていきます。

病棟で看護師と行う練習

- ①看護師が付き添いで歩行練習を行います。

（※リハビリ室でのリハビリの進行状況と合わせながら進めていきます）

《支援サービスについて》

人工関節置換術を受けられる方は『介護保険』や『身体障害者手帳』等の公的サービスを申請することが可能です。受けられるサービスの内容は各自治体によって違うようなので、調べて上手く活用しましょう。自宅改装（ベッド、お風呂、トイレ、手すりの取り付け）等に利用することも可能な事が多いです。

これらは時間の掛る事が多い為、早めに申請をする事をお勧めします。

《注意点》

人工関節置換術を受けられた方は以下のことについて特に注意が必要です。

① 脱臼

人工関節は脱臼しやすいです。下の2点に注意してください。

- ・手術した足側の股関節を90度以上曲げない。
- ・手術した足を内側に捻らない。

② 転倒

足元に注意し、階段や段差では出来るだけ手すりを持つようにし、転倒に注意してください。可能であれば、家の中の階段、トイレ、お風呂場等段差のある部分には手すりを付けるようにしましょう。

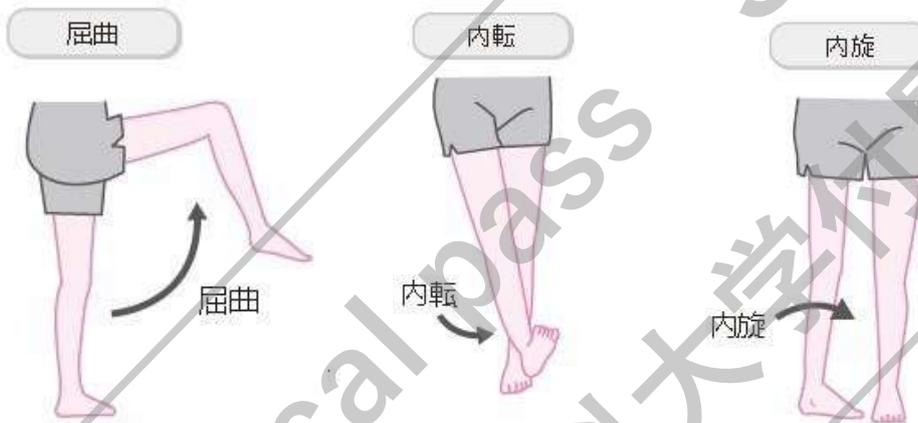
③ 手術した足への過度の負担

人工関節は酷使すれば早くに痛んでしまう可能性があります。エレベーターやエスカレーターがあるような所では、階段ではなくそれらを利用するようにしましょう。

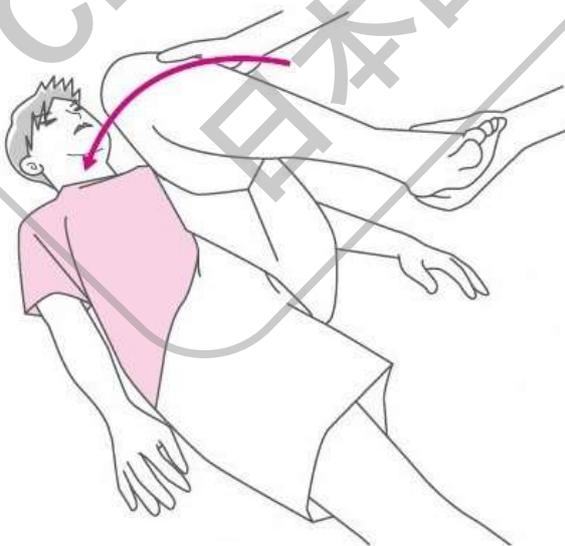
また、重い荷物を持つこともできるだけ避けましょう。

人工関節置換術、人工骨頭挿入術（後方アプローチ）後の脱臼姿勢

「後方アプローチ」では、股関節の屈曲・内転・内旋方向です。

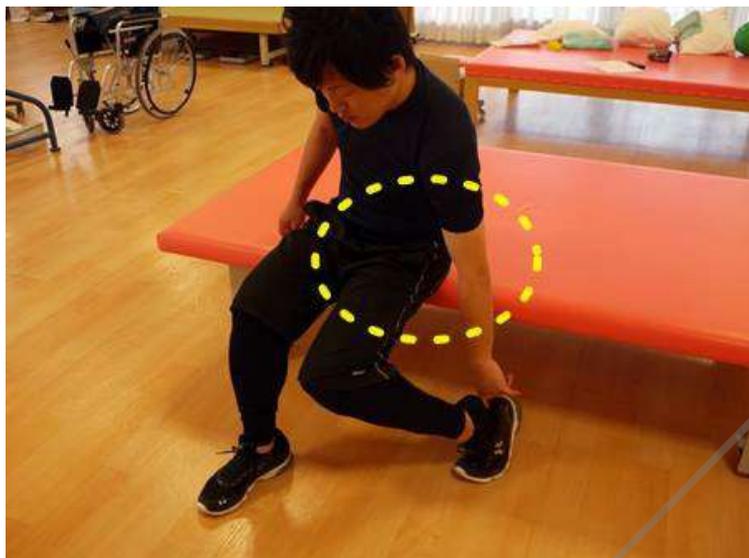


この3つの姿勢が合わさると以下の姿勢になります。



日常生活での気をつける姿勢

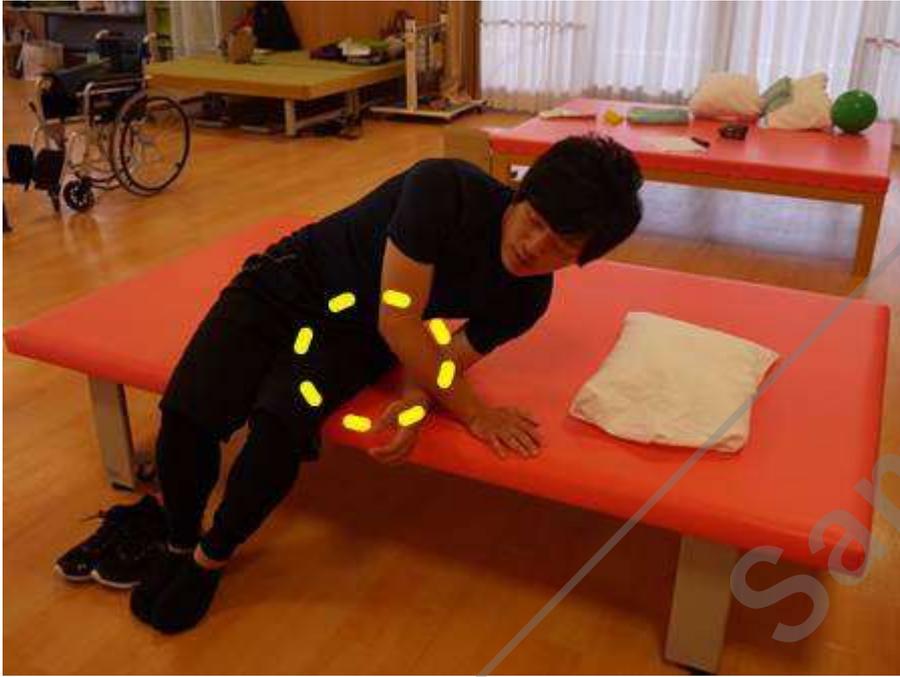
1. 靴履き



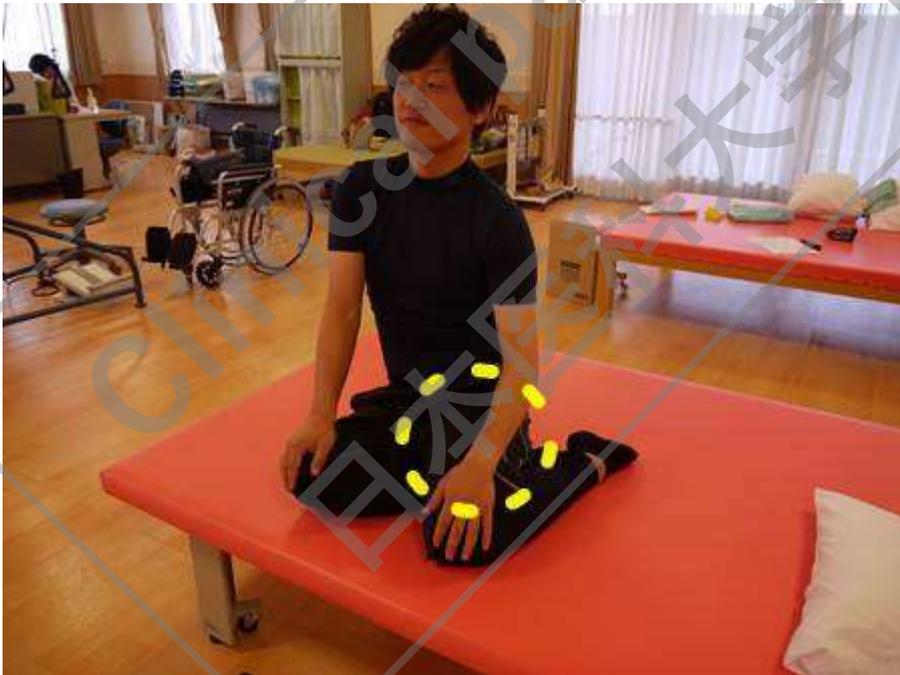
2. 靴下履き



3. 座位からの寝転び



4. 横座り正座を崩した姿勢



5. とんび座り



6. 床へのしゃがみ込み



7. 歩行時の振り向き



8. よじ登り



9. トイレ



10. 入浴



人工骨頭挿入術（前方アプローチ）後の脱臼姿勢

「前方アプローチ」では、股関節の伸展・内転・外旋方向です。

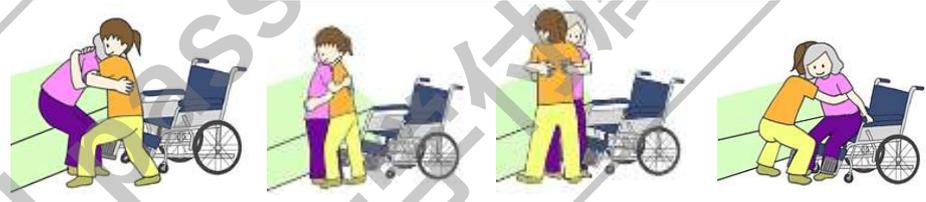


日常的にこの姿勢になることはほとんどありません。



あえて言えば、ボーリングのフォロースルーくらいです。

人工骨頭挿入術、人工関節置換術手術後のリハビリについて

術後 1 日目～	
リハビリ室 病棟	<p>基本動作訓練 (立ち上がり訓練) <u>手術した足に体重はかけません</u></p> 
	<p>車椅子移乗訓練 <u>手術した足に体重はかけません</u></p> 
術後 4 日目～	
リハビリ室 病棟	<p>歩行訓練 <u>手術した足に 100%の体重をかけます</u></p>  

術後 8 日目～

歩行訓練 (杖を使用)

リハビリ室
病棟



階段訓練



【上がるとき】

①杖をつく ②健康な脚で1段上る ③痛む方の脚をそろえる

【下るとき】

①杖をつく ②痛む方の脚を1段下ろす ③健康な脚をそろえる

観血的骨接合術手術後のリハビリについて

術後 1 日目～

リハビリ室
病棟

基本動作訓練
(立ち上がり訓練)
手術した足に体重はかけません



車椅子移乗訓練
手術した足に体重はかけません



術後 8 日目～

リハビリ室
病棟

歩行訓練
手術した足に 100%の体重をかけます



術後15日目～

リハビリ室
病棟

歩行訓練（杖を使用）



階段訓練



【上がる時】

①杖をつく ②健康な脚で1段上る ③痛む方の脚をそろえる

【下るとき】

①杖をつく ②痛む方の脚を1段下ろす ③健康な脚をそろえる

*運動について

激しい運動は避けましょう。疲れたら休むようにしましょう。階段は手すりや杖を使用し、一歩ずつゆっくり昇降してください。昇る時は、手術をしていない方の足から、降りる時は手術したほうの足から降ります。どんな時でも、杖は必ず持ち歩きましょう。

外出する際は、人混みは避け、段差などに注意して転ばないように注意して歩行するようにしましょう。また、天候にも注意して外出しましょう。



***緊急時の対応について**

()様の次回外来受診日は、

()月()日()曜日です。

心配なことやわからないことがありましたら、いつでも医師または看護師にご相談下さい

日本医科大学付属病院(代表) 03-3822-2131

外来のFブロックまたは中央処置室へお願いいたします。

Clinical pass Sample
日本医科大学付属病院